新幼支第203号の2
令和8年5月22日

保育園長　様
認定こども園長　様
地域型保育事業施設長　様
認可外保育施設長　様
病児・病後児保育事業施設長　様
地域子育て支援センター長　様
こども誰でも通園制度実施施設長　様

新潟市こども未来部
幼保支援課長
（幼児教育・保育グループ）

事故集計報告（令和７年度分）について

日ごろより、園児の健康及び安全について十分ご配慮いただき感謝申し上げます。また、電子申請による速やかな事故報告の提出に、重ねて感謝申し上げます。

この度、令和７年度（年間分）の事故集計結果がまとまりましたので、別紙のとおりご報告いたします。事故の傾向についてご確認いただき、こどもたちの痛ましい事故が、１件でも少なく、軽く済むよう、各保育施設での事故予防の取組の参考にしていただければ幸いです。

◆問合せ先◆
新潟市こども未来部幼保支援課
幼児教育・保育グループ
ＴＥＬ　０２５－２２６－１２１６

別紙１

事故発生報告資料
（令和7年度年間）

【事故報告件数（R7.4月～R8.3月）】

施設別件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
施設数	報告件数(合計)	116	143	133	127	96	109	166	118	130	138	119	124	1519	＊1
77	市立保育園	38	45	32	37	30	41	52	25	44	35	34	45	458	
1	市立認定こども園	3	2	1	0	0	2	4	1	3	0	1	1	18	
45	保育園	13	13	19	20	5	14	15	17	15	22	12	17	182	
135	認定こども園	58	80	79	65	59	51	91	69	66	76	68	57	819	
26	地域型	2	2	2	3	1	1	3	1	2	1	2	3	23	
43	認可外	1	0	0	2	0	0	0	5	0	1	2	0	11	
	病児・病後児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	子育て支援センター	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	4	
	一時預かり	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	4	
うち県・国への報告		1	0	0	1	0	4	0	0	1	0	0	0	7	

部位別件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
	報告件数(合計)＊	117	146	136	128	96	109	171	120	130	139	121	128	1541	＊2
部位別※	頭	9	8	6	9	6	4	10	10	10	6	5	7	90	
	顔面	79	89	82	79	62	67	99	70	80	95	90	83	975	
	体幹	3	5	3	1	0	1	4	6	4	1	2	4	34	
	上肢	19	31	35	24	19	28	41	18	22	18	16	19	290	
	下肢	7	13	9	14	9	9	12	15	14	17	8	14	141	
	その他（誤飲・誤食・異物など）	0	0	1	1	0	0	5	1	0	2	0	1	11	
顔面	額	9	10	8	7	8	3	9	8	8	4	7	8	89	
	眼	20	14	10	21	10	14	16	9	19	14	10	11	168	
	頬	10	8	8	6	8	6	13	5	7	12	14	5	102	
	耳	1	3	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	17	
	鼻	2	4	5	2	1	0	7	3	1	3	10	8	46	
	くち	18	27	31	22	17	21	28	27	18	34	32	25	300	
	歯	24	33	33	27	21	25	38	29	29	40	31	36	366	
	あご	3	5	1	5	3	8	6	4	8	10	3	7	63	

令和7年度の報告件数は1519件でした。前年度より105件減少しました。日頃より安全な保育・園運営にご尽力いただいている結果だと思います。

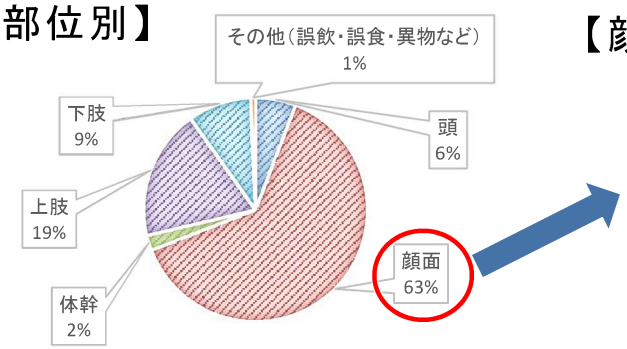
一方で、園の規模の違いはありますが、令和6年度同様に報告件数が50件に迫る園もありました。事故の多い園は検証や分析を行い、事故の減少につなげていきましょう。

また、事故報告が0件の園は報告漏れの場合、検証等の不足により事故防止の取り組みが阻害されてしまいますので、漏れがないか再度ご確認をお願いします。

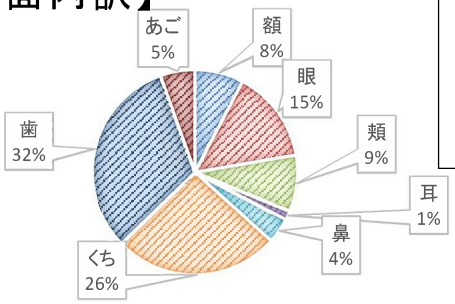
部位別件数をみると、昨年同様「顔面」の件数が突出しています。特に、「くち」「歯」が多いようです。転倒の際、手が出ず負傷してしまうようです。また、「眼」の負傷も多く、大きな怪我につながるケースもあります

＊1・2・3の件数が異なるのは、1件の事故で複数の負傷や部位があるためです

【部位別】



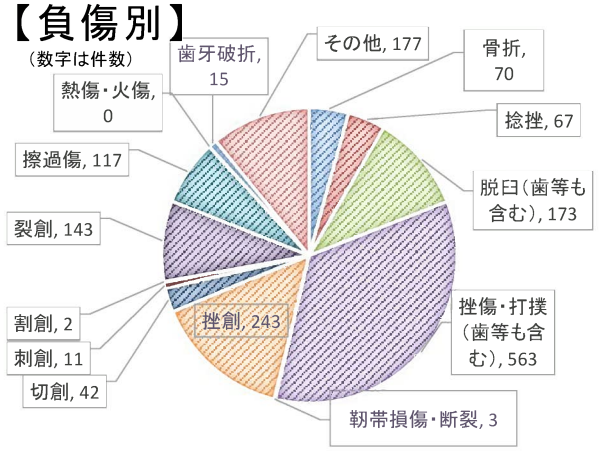
【顔面内訳】



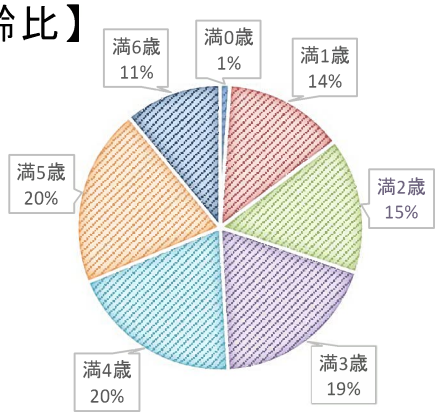
負傷別件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
報告件数(合計)＊		122	151	143	134	105	112	180	126	139	151	128	135	1626	＊3
負傷別※	骨折	8	5	6	3	5	9	8	3	5	7	9	2	70	
	捻挫	3	2	6	8	7	4	5	5	9	8	4	6	67	
	脱臼(歯等も含む)	10	19	13	14	9	15	22	12	16	16	9	18	173	
	挫傷・打撲(歯等も含む)	46	50	46	50	37	37	54	45	47	51	50	50	563	
	靭帯損傷・断裂	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3	
	挫創	21	19	19	15	18	16	36	18	27	24	15	15	243	
	切創	3	4	2	3	4	2	7	5	6	2	3	1	42	
	刺創	0	1	0	2	1	0	0	2	2	0	1	2	11	
	割創	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
	裂創	13	15	16	14	7	10	10	9	8	20	8	13	143	
	擦過傷	8	9	15	8	5	7	13	12	10	7	12	11	117	
	熱傷・火傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯牙破折	1	1	0	1	1	1	2	0	1	2	3	2	15	(※歯牙破折のうち2件は重大事故等)
	その他	8	26	20	16	10	11	23	14	6	14	14	15	177	

「挫傷・打撲」に関しては年間を通して毎月多い怪我です。また、昨年度と同じく500件を超えています。
「その他」には、目に砂や枝・指が入る、手指を挟む、脳震盪、歯の脱落などが分類されます。

【負傷別】



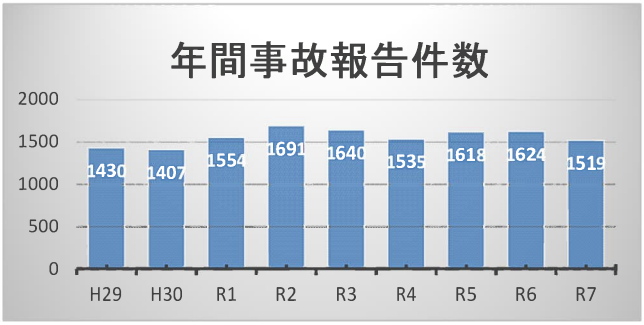
【年齢比】



【男女比】



男女比は変わらず6:4で



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
R7	116	143	133	127	96	109	166	118	130	138	119	124	1519	
R6	177	139	156	124	117	110	173	171	127	81	112	137	1624	
R5	134	159	145	116	123	123	147	152	123	115	144	137	1618	
R4	112	124	163	133	70	153	152	135	133	115	117	128	1535	
R3	154	160	165	120	104	164	141	146	139	107	91	149	1640	
平均	139	145	152	124	102	132	156	144	130	111	117	135	1604	

年間一番多い
年間二番目に多い
年間一番少ない

別 紙 2

【令和７年度　新潟市事故報告件数】

電子申請された年間事故報告

1519件

市立保育施設(75/78 園)	477 件
私立保育園(36/45 園)	182 件
私立認定こども園(113/135園)	821 件
地域型保育事業施設(9/26 園)	24 件
認可外保育施設(5/43施設)	11 件
病児・病後児保育施設(0/11 施設)	0 件
市立子育て支援センター(4/12 施設)	4 件
私立子育て支援センター(0/31 施設)	0 件

＊(事故報告提出施設数/全施設数)

・重大事故
・重大事故等件数

130 件

（全報告件数の 8.56%）

骨折　70 件
〈内訳〉下肢：30　上肢：40
鎖骨：0　鼻骨：0

縫合 50件
〈内訳〉頭：8　額：10　顎：16
目・目の周り：3　耳：1
口：13　頬：1　下肢：1
※1 件で２か所縫合の事故あり

歯・口腔内　7件（歯牙破折２件を含む）

その他　3 件
〈内訳〉眼球の怪我：1　靭帯断裂：1
頭部打撲：1

R７国報告した事故件数

７件

＜施設別＞

市立	0 件
私立保育園	0 件
私立認定こども園	6 件
地域型	1 件
認可外	0 件

＜男女別＞
男　3 件
女　4 件

＜内容別＞
骨折　6 件
歯　1 件

＜満年齢別＞

2 歳　0 件	
3 歳　0 件	4 歳　1 件
5 歳　4 件	6 歳　2 件

＜国への報告対象となる重大事故とは＞
・死亡事故
・意識不明事故（どんな刺激にも反応しない状態に陥ったもの）
・治療に要する期間が30日以上の負傷や疾病を伴う重篤な事故　　R6.3 月より変更

【国報告対象重大事故発生状況(R7.4 月～R8.3 月)

令和 7 年度、国への報告対象となった事故は以下の通りです。

発生月	満年齢 傷病名	場所 時間	概要
4月	5歳　女児 歯の脱臼	遊戯室 16:50頃	延長保育時、他児の真似をしてソフト積み木を踏み台に遠くへジャンプした際、失敗して勢いよく顔から落ちて、床に歯を強打した。
7月	5歳　男児 右橈骨遠位端骨折 右尺骨遠位端骨折	遊戯室 16:50 頃	4 歳児との合同保育に移行するため自分の荷物をもって移動する際、保育室入り口付近にあるボルダリング用安全マットに躓き転倒した。顔面はぶつけなかったが床についた右手を痛めた。
9月	4 歳　男児 左上腕骨外顆骨折	園庭 11:00 頃	園庭遊具(高さ30㎝)からジャンプしたところ、自らの腕を下敷きにした状態で転倒した。手術あり
9月	6 歳　女児 小児外果剥離骨折	園外 10:30 頃	運動会リハーサルのため園外の施設へ行き、始まるまで鬼ごっこをしていたところ足をひねり転倒した。
9月	5歳　男児 右ひじ骨折	園庭 15:45頃	園庭で鬼ごっこをしていたところ、高さ30㎝のベンチを走って飛び越えた際、着地がうまくいかず、右腕を下敷きになるような形で転倒した。手術あり
9月	5 歳　女児 左ひじ骨折	遊戯室 13:45 頃	遊戯室で鬼ごっこをしていた際、自ら転倒したところに他児が覆いかぶさるように転倒したため本児が下敷きになって左ひじを痛めた。手術あり
12月	6歳　女児 左頭蓋骨骨折	遊技室 17:50 頃	遊戯室で大きく回りながら走っていた。 20 ㎝ほどの高さのソフト積み木に片足をかけたところうつぶせに転倒した。脳内出血のため手術あり。

令和 7 年度の重大事故のほとんどが「転倒」によるものでした。幼稚園・保育園等の事故防止パンフレット(日本スポーツ振興センター発行)によると障害が残る事故の30%ほどが転倒によるものです。
つまずきやソフト積み木等からの着地の際に転倒する件数が多かったため、類似の事故が多発しないように事故予防の意識を高めていきましょう。

ご注意ください！事故報告の電子申請フォームへのアクセス

令和 8 年度　事故報告(事故発生日:令和 8 年 4 月 1 日からの事故報告)

https://42afd41c.form.kintoneapp.com/public/c569ae388115ed69a8f74dd1b501feeb66da263978dc89b28303f0e8786a70ee

※電子申請は令和 8 年度の URL より行ってください

R8年度用